

「健康で心豊かに長生きをしましょう。」(3)

平成 24 年 12 月 27 日

村山 章

人の器の大きさとは一体何でしょうか。大臣の器とか経営トップの器などは別にして、私達一般人における「人の器」とは受け入れる度量、許す力ではないかと思えます。人という字は支え合っている形を表すと言います。私達はみんな共同生活をしています。一步外に出ればアスファルトの上を歩きますが、アスファルトは自分が造った訳ではありません。それだけでも一人で生きている訳ではないことが分かりますね。逆に共同生活をしているということは、知らず知らずのうちに人様に迷惑を掛けている可能性も考えられるのです。だから、周りの人から少しでも迷惑を掛けられると怒る人は器の小さい人だと思えます。共同生活をしているのだから、お互い様と許せる人こそ器の大きい人ではないでしょうか。ただ同じミスを繰り返して周りに迷惑を掛ける人も困りますので、何らかの対応は必要です。また、迷惑は、掛けた方の方はほとんどの場合気づいていませんから、掛けられた方は、迷惑が生じた事情を優しく相手に伝えてあげるのも愛情だと思えます。そして、お互いに伝えてもらったら感謝いたしましょう。そのようにして、人様のミスや性格の短所をどこまで受け入れられるか、許せるかで、その人の器の大きさが決まるのではないのでしょうか。

完璧な人間はほとんどいません。遊びで、飲む（飲食）、打つ（博打）、買う（異性）という言い方をします。落語ではこれを「三道楽煩惱（さんどらぼんのう）」などと紹介します。3つともやる人は困った人、2つやる人はしょうがない人、1つだけやる人は良い人だそうで、実は一番悪いのは何もやらない完璧人間のようなのです。一緒に居ると息が詰まると言うことなんでしょうね。このように人間は、ある程度欠点があるのを前提とした方が良いでしょう。

「愛とは許すこと」とも言います。長く夫婦としての生活を続けるためにも、相手を許すことが一番重要になってくるのではないかと思えます。